

平成 12 年 11 月 6 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 12 年第 5 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間	流況調査	:平成 12 年 10 月 13 日及び 10 月 27 日
調査海域	伊勢湾	
	流況調査 測点	(別図参照)
調査船	測量船「いせしお」	
現地調査員	水路部 水路課 海象係長	木村 琢磨
	” ” 測量係長	瀬田 英憲
	” ” 海象係員	山崎 哲也
	測量船「いせしお」船 長	山本 常夫
	” 機 関 長	石原 信雄
	” 航海士補	渡部 千尋
	” 機関士補	福嶋 力
	京都大学 大 学 院 生	牧野 光琢
	” 学 生	辻 秀泰
調査項目	流況調査	:水温・塩分・透明度
資料整理	海象係長 木村 琢磨	海象係員 山崎 哲也

2 観測経過

10 月 13 日は、天候は良かったが、測点 5 から 6 に掛けて海上模様が悪く、観測作業に苦慮したが、全測点の観測を実施することができた。

10 月 27 日は、天候・海上模様共に良く、全測点の観測を実施することができた。

3 海況（成果は別図参照）

流況調査（伊勢湾）

10月13日

水温： 全般的に平年にくらべ1 程度高かった。

塩分： St.1~4 の表層付近は、平年にくらべ1~4 低くなっていたが、その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

10月27日

水温： St.1~2 の中層は、平年にくらべ1 程度高く、St.2~3 の下層は、ほぼ平年並みであったが、その他の地点は、平年にくらべ1 程度低かった。

塩分： St.1~5 の上層は、平年にくらべ2~3 高く、St3~6 の中層は、平年にくらべ等値線が20m 程度深くなっていた。

St.1 の下層は、平年にくらべ1 程度高かった。

その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

10月13日と27日の比較

St.1~2 の10m 層付近が低温低塩分水化していた。

St.4 の表層付近が低温高塩分化していた。

St.4~5 の中層において、低温低塩分水化していた。

全般的に、低温水化していた。

* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。